

施工説明書

シャワートイレ Dシリーズ

CW-D12型 CW-D11S型 CW-D11型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体と同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

お客さまへ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

1 分岐金具の取付け



2 シャワートイレ本体の取付け



3 電源の接続



4 試運転

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

- 指示実行** 施工説明書に従い、正しく施工する。
 - ※感電・火災・ケガの原因になります。
 - ※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 禁止** 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
 - ※電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- 分解禁止** 分解や改造は絶対に行わない。
 - ※感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
 - ※感電の恐れがあります。
- 指示実行** 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
 - ※コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
 - ※感電・火災の原因になります。
- 禁止** AC100V以外では使用しない。
 - タコ足配線はしない。
 - ※感電・火災の原因になります。
- 指示実行** 電源プラグは根元まで十分差し込む。
 - ※感電・火災の恐れがあります。
- 禁止** ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
 - ※感電・火災の原因になります。
- アース接続** アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
 - ※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
 - ※アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止** バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
 - ※感電・火災の原因になります。
- 禁止** 水道水以外に接続しない。
 - ※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

注意

- 指示実行** 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
 - ※製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
 - ※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
 - ※凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
 - ※凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行** 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
 - ※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 指示実行** ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- 指示実行** ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
- 指示実行** ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
 - ※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

-1-

-2-

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご相談ください。

- コンセントはAC100V、定格消費電力300Wに適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
- また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、D種接地工事に準じた工事を行ってください。
- アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは1000mmです。
 - ※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。
- シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ずシャワートイレ専用の漏電遮断器（高速・高感度型〔感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以内〕）を設置してください。

便器の確認

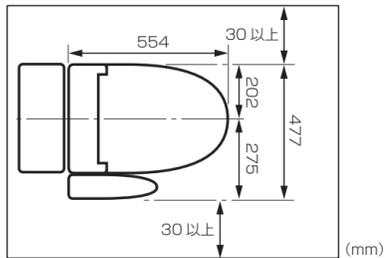
- 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。
- 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件
同梱の本体給水ホースは950mmですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は800mm未満が適切です。
 - ※800mm以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホースCWA-27C（1350mm）またはCWA-28C（2000mm）を手配してください。
- タンク給水ホース（別売品）の使用可能な条件
止水栓とロータンの間の距離によって使用できない場合があります。
 - 止水栓とロータンの間の距離が150mm～300mmの場合：タンク給水ホースが使用できます。
 - 【補足2】をご覧ください。（P.8）
 - ※その他の場合は使用できません。既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
 - 【補足1】をご覧ください。（P.7）

使用する水は？

- 給水は必ず水道水に接続してください。中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は0.06MPa {0.6kgf/cm²}～0.75MPa {7.5kgf/cm²} が必要です。0.06MPa {0.6kgf/cm²} 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- 給水は便器の止水栓から取ってください。フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

必要なスペースは？

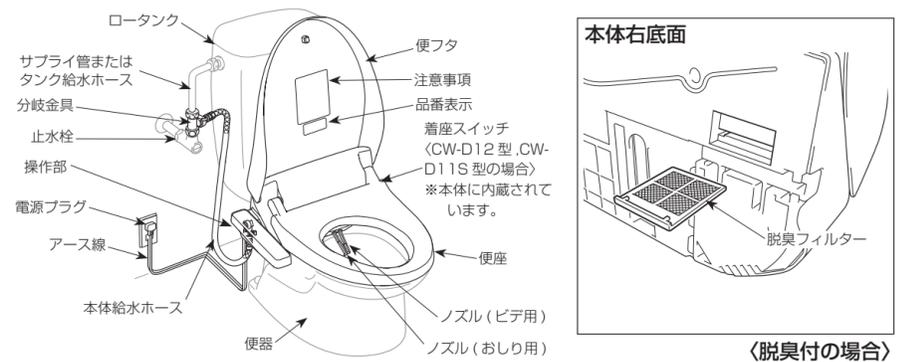
必要なトイレスペースは下図のとおりです。トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。製品に向かって右側・左側ともに30mm以上の空間を確保してください。30mm未満ですと本体スライド着脱ができなくなります。また、動作の妨げになる場合があります。



準備工具

- モンキーレンチ（26mm以上調節可のもの）またはスパナ類（23～26mm）2本
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター（サプライ管を切断する場合）

各部のなまえ



同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

1 分岐金具 パッキン (黒:厚さ2mm)	2 本体着脱プレート 半球パッキン スリップワッシャー 六角ナット 本体取付ボルト ※本体着脱プレートはシャワートイレ本体に取り付けています。	パッキンセット パッキン (青:厚さ2mm) スリップワッシャー※1 パッキン (黒:厚さ4mm)※1
3 シャワートイレ本体	クリップ 	給水ホース (全長 950mm)
		説明書セット

※1：既存のサプライ管を切断した場合に使用します。

別売品

止水栓付分岐栓 (CF-006)

- ※止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。
- ※シャワートイレ側の給水を止水できます。

※タンク給水ホース（全長350mm）(CWA-24C)

パッキン（青：外径18mm、内径12mm、厚さ2mm）50-15(1P)

※パッキン（青）とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

パッキンセット (200-640)

パッキン(黒)2枚 スリップワッシャー
パッキン(青)2枚 ストレーナー

専用工具 (361-1002)

便座着脱工具 (RC-6420)

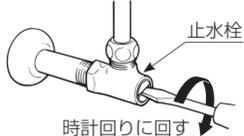
※別売品はソケット付です。

-3-

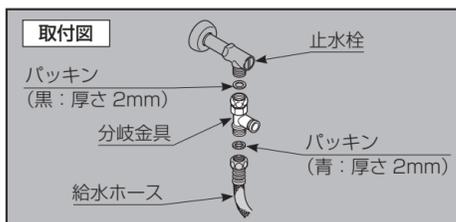
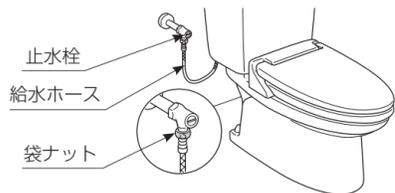
-4-

1 分岐金具の取付け 【注意 1-1 参照】

1. 止水栓を閉める。
便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっぱい閉め、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2. 給水を確認する。
止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。
※ サプライ管を取り付ける場合は【補足 1】（P.7）をご覧ください。



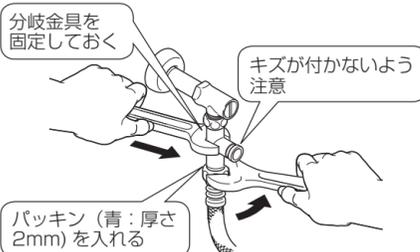
■ 止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（袋ナット固定）



3. 給水ホースを取り外す。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。
4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）

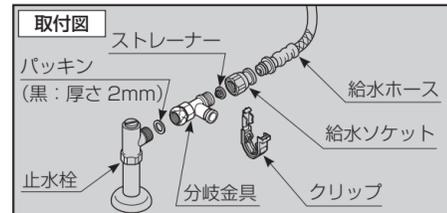
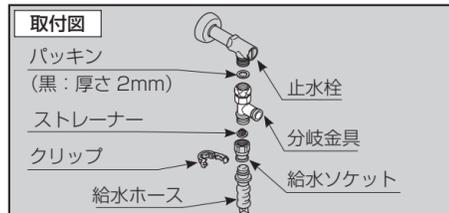
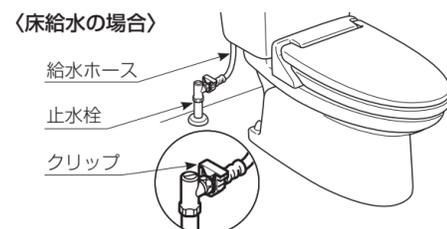
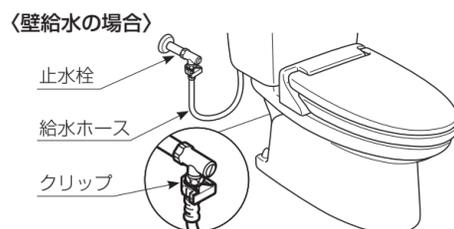


5. 給水ホースを取り付ける。
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。

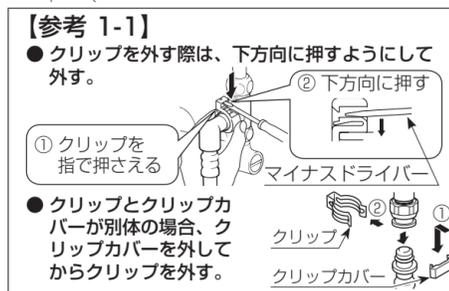
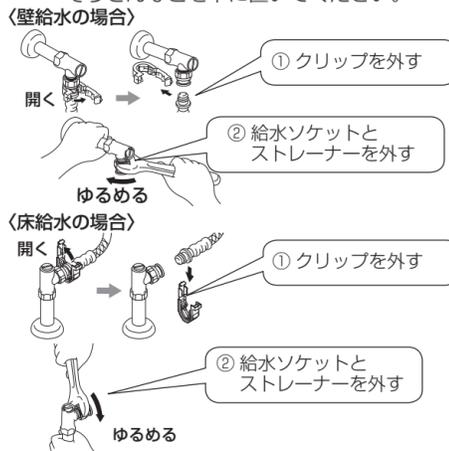


【注意 1-1】
● 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

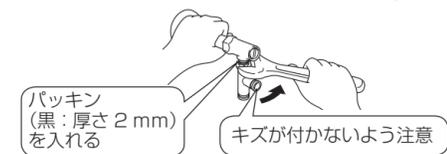
■ 止水栓と便器（ロータンク）が給水ホースで接続されている場合（クリップ固定）



3. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。
【参考 1-1 参照】
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）

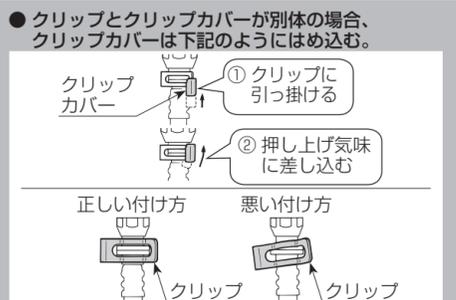
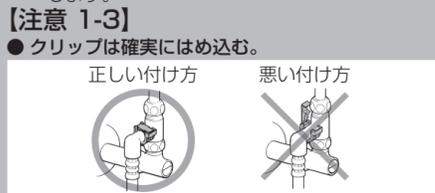


5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。
【注意 1-2 参照】【注意 1-3 参照】
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）

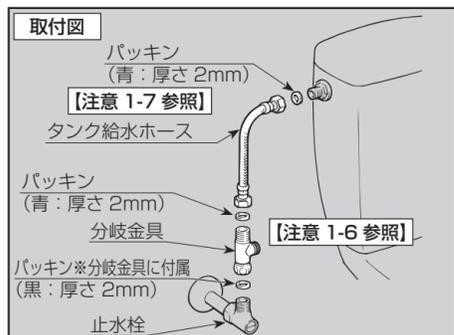
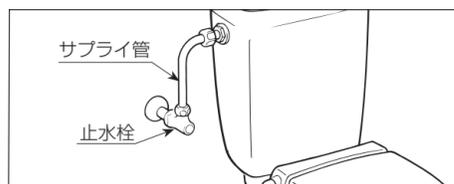


※ 取付け後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

【注意 1-2】
● Oリングにキズを付けないように注意する。
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。



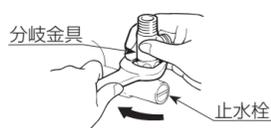
■ 止水栓と便器（タンク）がサプライ管で接続されている場合



3. サプライ管を外す。
【注意 1-4 参照】
タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



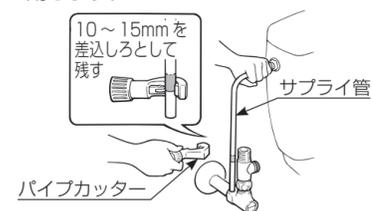
4. 分岐金具を取り付ける。
バックン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）



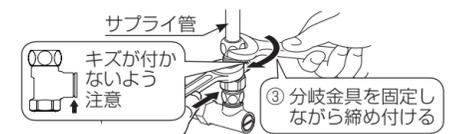
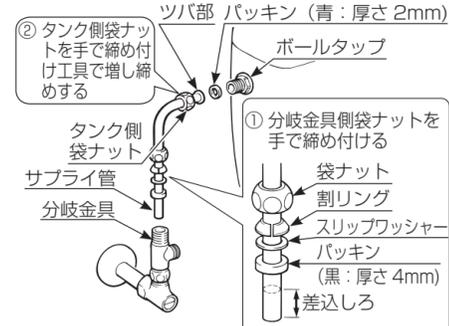
サプライ管を切断して取り付ける場合は、【補足 1】（P.7）をご覧ください。

補足 1 サプライ管の取付け 【注意 1-4 参照】

1. サプライ管（分岐金具側）を切断する。
【注意 1-5 参照】
※ サプライ管の切断にはパイプカッターを使用します。



2. サプライ管を取り付ける。
【注意 1-6 参照】【注意 1-7 参照】
【注意 1-8 参照】
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）

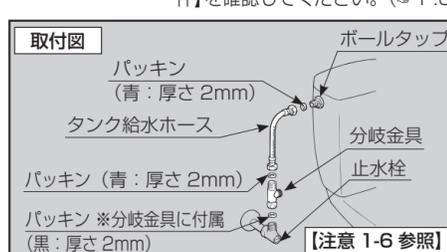


【注意 1-4】
● 止水栓やサプライ管に無理な力をかけない。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 1-5】
● サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
● サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
● 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。固定できない場合は、別売のタンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 1-6】
● 各製品の向きと順序を間違えないようにする。
※ 間違えると漏水します。
● 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、別売のタンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。
● サプライ管の接続は確実に行う。
※ 漏水の原因になります。

補足 2 タンク給水ホースの取付け ※ 【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。（P.3）



1. タンク給水ホースを取り付ける。
【注意 1-7 参照】【注意 1-8 参照】【注意 1-9 参照】
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）



【注意 1-7】
● 当社製ストレーナー付便器の場合は、別売のストレーナー付バックン（品番：26-10-2）に交換する。このとき同梱のバックン（青：厚さ 2mm）は取り付けない。

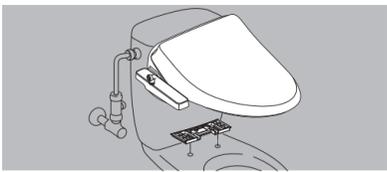
【注意 1-8】
● ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

【注意 1-9】
● タンク給水ホースは鋭角に曲げない。
※ 破損して漏水の原因になります。
● バックンは必ず付属品を使う。
※ 漏水の原因になります。

2 シャワートイレ本体の取付け

【注意 2-1 参照】 【注意 2-2 参照】 【参考 2-1 参照】

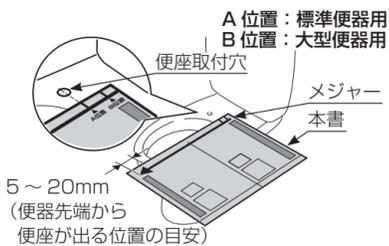
既存の便座を取り外す場合は、【補足 3】をご覧ください。



1. 本体着脱プレートの取付位置を確認する。

※本説明書端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの取付位置を決定します。

- ①目安として、便器が標準サイズの場合 **A 位置**、大型サイズの場合 **B 位置** を便座取付穴に合わせます。
- ②便器先端から便座が出る目安として、矢印が 5 ~ 20mm 出る位置を選択します。



A 位置：標準便器用
B 位置：大型便器用

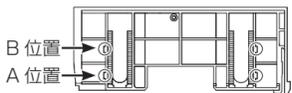
便座取付穴

メジャー

本書

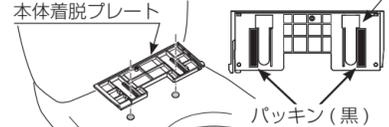
5 ~ 20mm
(便器先端から
便座が出る位置の目安)

- ③便座取付穴と本体着脱プレートの取付位置を合わせます。



※ A 位置、B 位置は目安です。シャワートイレ本体とタンクが干渉する場合は、プレートの取付位置を調整してください。

※本体着脱プレートはパッキン(黒)が付いている側を便器側に向けます。本体着脱プレートの裏側

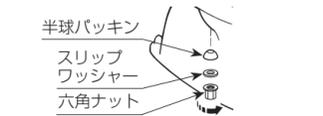


-9-

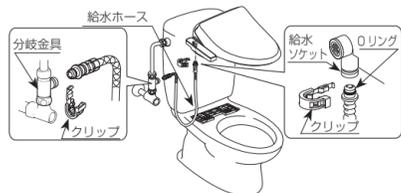
2. 本体着脱プレートを固定する。

【注意 2-3 参照】

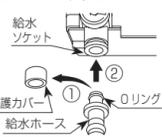
- ①本体取付ボルト 2 本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凸凹を合わせます。
- ②本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通してナットを取り付け、本体がガタつかないように確実に固定します。
(締付トルク 2.0 ~ 2.5N・m {20 ~ 25kgf・cm}) (参考：手締め後、便座着脱工具等で 2 回転程度)



3. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。



- ①給水ホースの保護カバーを外します。
- ②給水ホースを差し込みます。
※給水ソケットは回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。
【注意 2-4 参照】

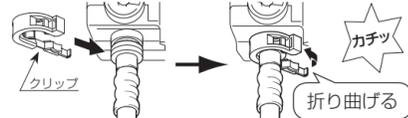


- ③クリップで固定します。

【注意 1-2 参照】 【注意 1-3 参照】

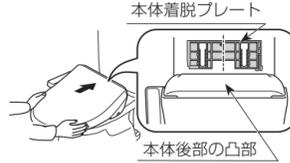
【注意 2-5 参照】 【参考 1-1 参照】

- ※クリップに方向性はありせん。
- ※取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



4. シャワートイレ本体を取り付ける。

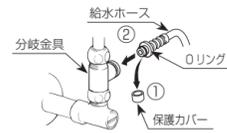
- ①本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ②本体着脱プレートの中心と本体背面部の凸部を合わせます。



- ③本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
※本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。
※本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。(②-2-②)
※本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなりません。
【参考 2-2 参照】

5. 給水ホースを分岐金具側に取り付ける。

- ①給水ホースの保護カバーを外します。
- ②給水ホースを差し込みます。
【注意 2-4 参照】

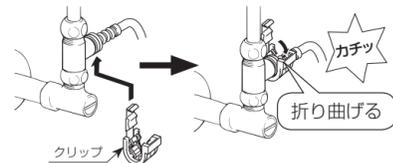


- ③クリップで固定します。

【注意 1-2 参照】 【注意 1-3 参照】

【注意 2-5 参照】 【参考 1-1 参照】

- ※クリップに方向性はありせん。
- ※取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【注意 2-1】

- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 2-2】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。

【注意 2-3】

- ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。
※締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

【注意 2-4】

- 給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※破損して漏水する恐れがあります。

【注意 2-5】

- クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
※漏水の原因になります。

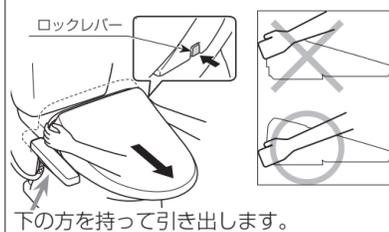
【参考 2-1】

- ノズルが、便器のリム部に乗り上げないように取り付けてください。



【参考 2-2】

- 本体を外すときは、以下の手順で行います。
- ①本体に向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。
 - ②ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。



下の方を持って引き出します。

【参考 2-3】

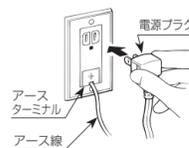
- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
- 取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

3 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 3-1 参照】

- ①アース線を接続します。
- ②電源プラグを差し込みます。



2. 電源が入っていることを確認する。

操作部の「洗浄強さ」の表示ランプが点灯していることを確認してください。



確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源投入後 40 秒以内を目安にしてください。)

警告

- 確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 3-1】

- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあける。

補足 3 既存の便座の取外し 【参考 2-3 参照】

■ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



■さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトをゆるめて、ボルトを下に押し込む。
3. さや 2 本を便器から抜きとる。



4 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。

	チェック欄	確認内容
漏水確認	<input type="checkbox"/>	漏水していませんか？ ※便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。)
	<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部
	<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部



●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 4-1 参照】 【注意 4-2 参照】

1. 電源が入っていることを確認する。
2. 腕で便座を押したまま、着座スイッチを入れる。
(CW-D12 型, CW-D11S 型の場合)



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約1～2分かかります。 ① を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり
	<input type="checkbox"/>	2. もう一度 を押すと水が止まりますか？	
ビデノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約1～2分かかります。 ① を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	ビデ
	<input type="checkbox"/>	2. もう一度 を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約15分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり
	<input type="checkbox"/>	2. もう一度 を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	<input type="checkbox"/>	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	便座

●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

【注意 4-1】

- 着座スイッチがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。
(CW-D12型、CW-D11S型の場合)
- ※ 脱臭スイッチはありません。自動でファンが作動します。(CW-D12型の場合)

【注意 4-2】

- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
 2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



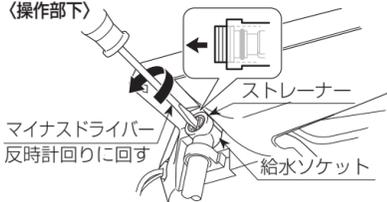
水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2. 電源プラグを抜く。
3. 本体を便器から取り外す。
【参考 2-2 参照】
4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。
あらかじめ水受け（約1L以上入るもの）を用意します。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに90°回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに90°回して確実に取り付けます。
6. 本体に向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。
【注意 5-1 参照】

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



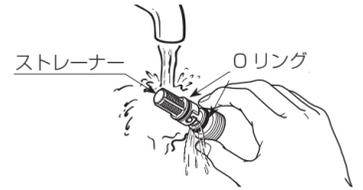
※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造によるもので、故障ではありません。

【注意】
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

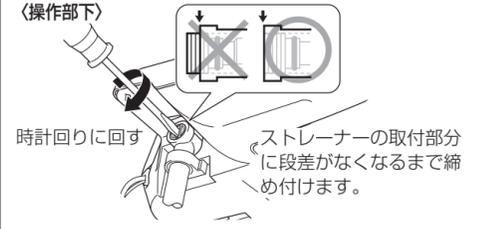
【注意 5-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

7. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に除去する。



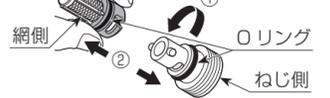
8. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付けする。



【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

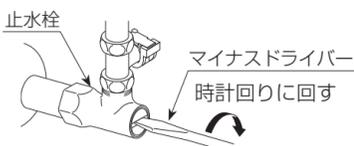
9. 本体を取り付ける。
※ 「②」シャワートイレ本体の取付け手順4)の手順
10. 「止水栓」を元の位置まで開く。
11. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。
12. 電源プラグを差し込む。

- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



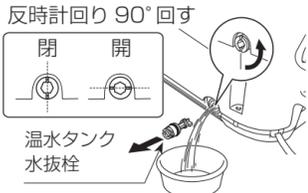
お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2. 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く。
3. 電源プラグをコンセントから抜く。
4. 本体を便器から取り外す。
【参考 2-2 参照】

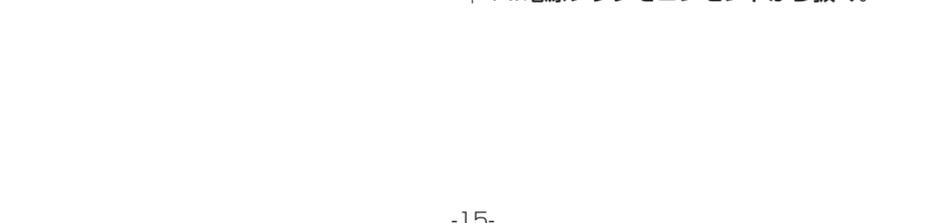
5. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。
あらかじめ水受け（約1L以上入るもの）を用意します。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに90°回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



6. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに90°回して確実に取り付けます。
7. 本体給水ホースから水を抜く。
【注意 5-1 参照】

- ① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
- ② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして完全に除去します。

8. 本体を便器に取り付ける。
※ 「②」シャワートイレ本体の取付け手順4)の手順
9. 電源プラグをコンセントに差し込む。
10. を押し、本体バルブ内の水を抜く。
※ 便座を手で押して を押してください。



11. 約5秒後、もう一度 を押す。
12. 水抜き完了後、もう一度本体を取り外し給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける。
13. 本体を便器に取り付ける。
14. 電源プラグをコンセントから抜く。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客様へ必ずお伝えください。
決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

快適機能の設定はしないでください！

■ 快適機能の設定はお客様におまかせください。
シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客様に設定した機能とその機能説明をお願いいたします。特に節電機能は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
お客様にシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。
● 便座・温水の温度 ● 脱臭機能 ● 節電機能
● 便座ヒーターオートOFF
* : 試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。